



Press Release

Maxwell Hall, Public Engagement, Tel.: +41 (0)79 329 3500, Email: maxwell.hall@weforum.org

第4次産業革命を牽引するテクノロジーに精通した公共心溢れる若きイノベーターたち

- 40歳未満の男女121名が、世界経済フォーラムのヤング・グローバル・リーダーズ（YGL）コミュニティに招待された。
- [第4次産業革命](#)の最前線を行く新しいリーダーたちの中には、損傷した人間の骨の再生を手がける企業を運営する女性、放射性廃棄物の再利用技術の開発を行っている科学者、政治改革に取り組む大臣、未来のビジネスリーダー、そして人権活動家が名を連ねている。
- 新たなYGLの面々は、女性の進出、新興経済のリーダーの台頭、技術分野や公共部門出身のイノベーターの活躍といった、未来のグローバルリーダーシップのあるべき姿を示している。
- YGLの詳細な情報と2016年のYGL一覧については <http://wef.ch/ygl16> を参照。

2016年3月16日、スイス、ジュネーブ – 本日、世界経済フォーラムは、自身を取り巻く政治や社会、そして世界の変革に取り組む40歳未満の科学者、政治家、未来のビジネスリーダー、社会活動家およびアーティストら合計121名を発表した。

2016年のヤング・グローバル・リーダー（YGL）の半分以上は女性が占め、過半数が新興国から選出された。世界各地の公的サービスが資金不足に直面する現在、彼らがこの世代における最高の人材として選出されたことは、未来のリーダーはテクノロジーに精通し、公共心を持ったイノベーターであるべきであることを表している。

新しいYGL全員の名簿は <http://wef.ch/ygl16> からダウンロードできる。

YGLフォーラムは社会に資する取り組みのためにメンバーが協働する、多様性に富んだコミュニティであり、選出された121名の大半はすでに同フォーラムへの参加を承諾している。これまでのYGLの尽力は、[世界的水不足への対策](#)、[低所得国の生産現場における労働条件](#)、[廃棄物のない世界](#)、[就学児童の健康状態および教育](#)、[脊髄損傷](#)などを扱うイニシアチブや事業として結実している。YGLが関与した特筆すべきイニシアチブは [こちらで見ると](#) することができる。

現在および以前のYGLたちは、各国政府の指導者やフォーチュン誌のランキング上位500社に入る企業の首脳、ノーベル賞やアカデミー賞の受賞者、国連親善大使や社会起業家として活躍している。新たなYGLの一員となる面々は、これからの5年間を互いに協力し合い、世界で最も難しい課題に立ち向かうことが求められる。

「テクノロジーによって、世界経済のあり方や雇用が生まれる仕組みが抜本的に変わりつつある。若きリーダーたちにとって、これは現代における極めて有望なイノベーションをもたらすと同時に、労働市場の大混乱、社会経済および人口動態の変化、資源の不足、国際紛争および生産性の低下といった課題をも引き起こすものである。私達は彼らのような若きリーダーに解決の一翼を担ってもらいたい。そのために彼らが組織や分野の壁を打ち破り、セクターを超えた取り組みを行い、文化間の橋渡しとなれるような、そして民間、公共、市民社会の組織において物事を成し遂げるスキルを持てるような、そういったコミュニティを提供したい。」と世界経済フォーラムYGLコミュニティ・ヘッドのジョン・ダットンは言う。

2016年度のYGLには以下の人物が含まれる（敬称略）。

- **サム・アルトマン (Sam Altman、男性)** : 世界有数の収益性を誇るスタートアップアクセラレーター、Y コンビネーター社の代表。同社はエアビーアンドビー、ドロップボックス、ゼネフィッツ、ストライプといった有名な事業に投資を行ってきた。
- **エレニ・アントニアドゥ (Eleni Antoniadou、女性)** : ギリシャ人科学者。不法な臓器売買の撲滅に向けた臨床移植用人工臓器開発の先駆けとなる「国境なき臓器移植」の共同設立者。
- **ファリダ・ベドウェイ (Farida Bedwei、女性)** : ガーナのソフトウェアエンジニアで、ロジシエル社の共同設立者。アフリカの金融テクノロジー分野において最もパワフルな女性の一人。出生時に脳性麻痺を患っており、アフリカの障害者や女性の生活に変革を起こす取り組みを行っている。
- **デヴィッド・ブレイ (David Bray、男性)** : 米国連邦通信委員会 (FCC) の最高情報責任者。15歳で初めて政府のIT関連の仕事に就き、現在はFCCをスタートアップ企業のように生まれ変わらせるため、壮大な見直し作業の指揮を執っている。
- **ジュリー・チャペル (Julie Chappell、女性)** : イギリス最年少の大使。現在、優秀な若い女性のグローバルリーダーとしての活躍を支援するフォーラムの構築に取り組んでいる。
- **チーハン・ユー (Chih-Han Yu、男性)** : 世界的な人工知能の研究者で、台湾の新興企業エイピアの共同設立者。自動運転車向け人工頭脳やロボット犬、変形ロボットなど数々のイノベーションを手がけている。
- **ノミン・チンバット (Nomin Chinbat、女性)** : モンゴルTVの創設者で最高経営責任者 (CEO)。モンゴルの放送業界の改革と国際サプライヤーの誘致に取り組む。オーディション番組「モンゴルズ・ゴット・タレント」は業界シェア 90%という記録的なヒットとなった。
- **アマル・クルーニー (Amal Clooney、女性)** : 刑事国際法と人権を専門とする弁護士。政府の代理人を務め、シリア問題では国連のコフィー・アナンにアドバイスを行った。国際人権調査および紛争解決委員に任命され、国際法廷では話題の人物の弁護も手がけた。
- **レスリー・ディーワン (Leslie Dewan、女性)** : 核廃棄物を燃料として再利用する技術を持つトランスアトミックパワー社の共同設立者。
- **アリア・フィンガー (Aria Finger、女性)** : 社会変革を目指す若者を支援するニューヨークの非営利団体「DoSomething.org」のCEO。同団体に提供される企業からの資金調達額を3倍に、活動に参加する若者の数を4倍に増やしたほか、「ティーンズ・フォー・ジーンズ」キャンペーンを立ち上げ、これまでに路上で生活する500万人のティーンエイジャーに衣服を提供している。
- **ローランド・G・フライヤー (Roland G. Fryer、男性)** : ハーバード大学の経済学部教授および教育イノベーション研究所所長。マクドナルドのドライブスルーで働いたのち、アメリカの教育、人種、格差といった問題の権威としてアメリカ全土から尊敬を集める存在となる。ハーバード大では最も若い30歳で終身在職権を獲得した。教育改革における効果的な政策設計、および警察による暴力との闘いが研究の主眼である。
- **傅盛 (Sheng Fu、男性)** : 中国インターネット起業家の象徴的存在で、アプリ開発最大手のチーター・モバイル社代表。6人で立ち上げた同社は時価総額27億ドルのニューヨーク証券取引所上場企業に成長した。
- **ジョー・ゲビア (Joe Gebbia、男性)** : エアビーエヌビーの共同設立者で同社の最高製品責任者。
- **メラニー・ジョリー (Melanie Joly、女性)** : ジャスティン・トルドー率いるカナダ新政府のカナダ民族遺産大臣。
- **アシュトン・カッチャー (Ashton Kutcher、男性)** : 俳優。テクノロジー投資家としても頭角を現す。児童の性的搾取の撲滅を目指すイノベーション研究所を設立した。
- **アビッド・ラリザデ・ドゥガン (Avid Larizadeh-Duggan、女性)** : 起業家。英国グーグル・ベンチャーズ社のパートナー。プログラミングを学ぶ女性の支援を目的の1つとして2013年にスタートした事業「Code.org」および「アワー・オブ・コード」のイギリス国内での活動を監督する。また、オンラインブティック「ボティッカ」も自ら立ち上げている。
- **エマニュエル・マクロン (Emmanuel Macron、男性)** : フランスの経済・産業・デジタル大臣。

- **アンディ・ムーン (Andy Moon、男性)** : 2020年までに貧困地域の住民700万人への電力提供を目指す、太陽発電企業サンファーマーを率いる起業家。ネパールの6,000か所の医療センターへの電力供給に取り組んでいる。
- **セス・モルトン (Seth Moulton、男性)** : 逆境を跳ね返し、支配者層の伝統的指導者らに闘いを挑み、2014年に米国下院議員に選出された。
- **大谷 光淳 (Kojun Otani、男性)** : 浄土真宗本願寺派第25世門主。
- **ダナエ・リングルマン (Danae Ringelmann、女性)** : テクノロジー分野の新興企業インディゴゴの共同設立者で、「クラウドファンディングの母」として知られる。金融の世界を変えるため、以前働いていたウォール街での職を退いた。
- **カロリナ・ロッシーニ (Carolina Rossini、女性)** : オープンインターネットを支援するワシントンDCのシンクタンク「パブリック・ナレッジ」で、国際政策部門のバイスプレジデント。
- **ジュリアナ・ロティッチ (Juliana Rotich、女性)** : 東アフリカのテクノロジー産業の急成長に貢献する非営利団体ウシャヒディの創設者。クラウドソーシングに基づくウシャヒディの地図作成プラットフォームにより、暴力から洪水まで、コミュニティにおけるあらゆる情報の追跡を支援する。
- **イェンシン・ング (Yeen Seen Ng、女性)** : アジア戦略リーダーシップ研究所 (ASLI) 最高執行責任者 (COO)。世界的シンクタンクのASLI 公共政策研究センター所長。マレーシア政府のアドバイザーも務めている。
- **ジュリア・シャフノフスカヤ (Julia Shakhnovskaya、女性)** : 元弁護士でモスクワ科学技術博物館館長。ソビエト後の施設をロシア有数の科学博物館へと生まれ変わらせた功績が高く評価されている。
- **シヴァニ・シロヤ (Shivani Siroya、女性)** : スマートフォンアプリを通じて与信サービスの利用を支援するデータ主導型マクロファイナンス企業インヴェンチュアの創設者でCEO。インフォーマル経済に属する25億人の人々に向けたクレジットサービスの実現を目指す。ケニアでの事業向けおよび個人向け貸付実績は150万ドル、返済率は85%となっている。
- **ジェームズ・ソン (James Song、男性)** : ミャンマーにおける民主主義の幕開けを支援する米国の投資顧問会社フェアキャップ・パートナーズの共同設立者。未公開株式投資、インフラ開発、エイズ治療およびプラスチックのリサイクルなど、幅広い経歴を持つ。
- **タウン・ス・ニェイン (Thaung Su Nyein、男性)** : ミャンマーの起業家。政府の圧力や検閲をよそに5,000ドルでメディア会社を立ち上げ、数百万ドルの事業へと成長させた。
- **ディヴィア・スルヤデバラ (Dhivya Suryadevara、女性)** : インド生まれ、ハーバード大学出身。アメリカで最大規模の年金、GMアセットマネジメントCEO。800億ドルの資産を管理する。
- **ウィリアム・タヌウィジャヤ (William Tanuwijaya、男性)** : ネット通販を手がけるインドネシア有数の新興企業トコペディアの創設者。同社は起業家や小規模企業のオンラインショップ開設を支援している。毎月600万件の売買を達成し、このほど1億ドルの投資を確保した。
- **ニナ・タンドン (Nina Tandon、女性)** : ヒトの生体骨を成長させ、骨格構造の再建を行う世界初の会社、エピボーンの創設者。
- **ライラ・トレティコフ (Lila Tretikov、女性)** : 世界最大のフリーな情報源を提供するウィキメディア財団の事務長。モスクワ生まれ。シリコンバレーの大企業とは対照的に、非営利団体である同財団は年間予算5,900万ドルのほぼ全額を寄付により賄う。215名の職員が、現在活動している8万5,000人のボランティア編集者の監督にあたっている。
- **上村想太郎 (Sotaro Uemura、男性)** : 東京大学の若手教授。1分子シーケンスに関するその画期的な研究は、感染症など世界的に重要な分野において従来の価値基準を根本から覆す可能性を持つ。
- **王庶 (Wang Shu、男性)** : 中国国家発展改革委員会次長。COP21のパリ協定に向けた中国政府の気候変動関連政策に深く関与した。
- **石嬌 (Shi Yan、女性)** : 中国の農業および食品産業における変革を象徴する、同国最初の地域密着型農園の設立者。農業生産者と消費者との関係構築、有機農産物の直売および持続的な農業の推進に取り組む。

- **レベッカ・ヤン・ユアンカオ (Rebecca Yang Yuancao、女性)** : 自らの手腕でメディア企業 IPCN の CEO となる。中国では TV エンターテインメントの女王として知られる。中国で人気のテレビ番組上位 10 本のうち 5 本が彼女の会社で制作されている。
- **ジュリー・ヨー (Julie Yoo、女性)** : データサイエンスを駆使し、医療機関や病院における患者と医師のマッチングを支援する、アメリカのソフトウェア開発会社カイルスの共同設立者。「ガールズ・フー・コード」のような組織の支援を通じ、テクノロジー分野で働く女性の活躍に力を注いでいる。
- **ファルクンダ・ザーラ・ナデリ (Farkhunda Zahra Naderi、女性)** : アフガニスタンの国会議員であり、最年少で選出された議員の一人。社会活動家。国連開発計画平和賞の受賞者。ユニバーサル・ピース・ファウンデーションの平和大使。

過去には、英国首相**デビッド・キャメロン (David Cameron)**、アリババ・グループ会長**ジャック・マー (Jack Ma 中華人民共和国)**、ヤフー USA の CEO **マリッサ・メイヤー (Marissa Mayer アメリカ)**、グーグル USA の共同設立者であり CEO の**ラリー・ページ (Larry Page アメリカ)**、TAM 航空 CEO の**クラウディア・センドル・ラミレス (Claudia Sender Ramirez ブラジル)**、イタリア首相**マッテオ・レンツィ (Matteo Renzi)**、マラグループ設立者でマネージング・ディレクターの**アシシュ・J・タッカー (Ashish J. Thakkar アラブ首長国連邦)**、宇宙飛行士兼搭乗運用技術者で STS-131 「ディスカバリー」 ミッションのクルーを務めた**山崎直子 (やまざき なおこ 日本)**、女優で国連開発計画親善大使の**周迅 (Zhou Xun 中華人民共和国)** などが YGL に選出されている。

編集者向け注記 :

2016 年の YGL に関する詳細な情報はこちらをご参照 <http://wef.ch/ygl15>

新しい YGL の名簿はブログ「[Agenda](#)」に掲載されている。

ヤング・グローバル・リーダーズに関する詳細な情報は、[ウェブサイト](#)、[パンフレット](#)および <http://wef.ch/ygl15info> をご参照。

ツイッターでフォローする : <http://twitter.com/YGLvoices>

フェイスブックでファンになる : <https://www.facebook.com/YoungGlobalLeaders>

YGL 候補者の推薦は[公式ウェブサイトにて受け付ける](#)。

ヤング・グローバル・リーダーズ・フォーラムについて

「ヤング・グローバル・リーダーズ・フォーラム」は、世界経済フォーラム創設者で会長のクラウス・シュワブにより 2004 年に創設された。多種多様なステークホルダーが関与する独自のコミュニティで、900 人の傑出した若きリーダーたちがその名を連ねる。大胆で勇敢、行動志向の起業家精神にあふれた各メンバーが、より良い世界の創造を目指し、同フォーラムに自らの時間と才能を投じる。フォーラムでは毎年、専門分野における業績、社会に対する献身、そして世界の未来形成に向けた貢献の可能性に基づき、世界中の優秀な若き指導者たち約 200 名を表彰している。

世界経済フォーラムについて

世界経済フォーラムは、パブリック・プライベート両セクターの協力で、世界情勢の改善に取り組む国際機関です。

政治、ビジネス、その他の社会における主要なリーダーと連携し、世界・地域・産業のアジェンダを形成します (www.weforum.org)



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>